案件

予防接種事業の推進について

保健予防課

1. 政策等の背景・目的及び効果

予防接種事業については、法令や国・府の通知に基づき適切に実施しているところです。今般、 妊娠を希望する女性等を対象とした風しんワクチン等予防接種の対象拡大や、新型コロナワクチン の定期接種化など国・府の動向を踏まえ、これらの予防接種にかかる本市の取り組みについて報告 するものです。

2. 内容

(1) 風しん対策費用助成事業

風しんのまん延防止と生まれてくる赤ちゃんを先天性風しん症候群から守ることを目的に、妊娠を希望する女性及びその配偶者等に対して、風しん抗体検査の費用及び抗体を持たない人の予防接種費用を助成しています。令和6年3月25日に、大阪府風しんワクチン等接種事業費補助金交付要綱が改正され、対象者が拡大されたことを受け、本市においても対象者を拡大します。

< 拡充内容>

	拡充前			
抗体検査	19歳以上の市民で、①~③のいずれか①妊娠を希望する女性②妊娠を希望する女性の配偶者③妊婦の配偶者			
予防接種	上記に当てはまる人のうち、 風しんの抗体を持たない人			



拡充後

<u>市民</u>で、①~③のいずれか (年齢要件を撤廃)

- ①妊娠を希望する女性
- ②妊娠を希望する女性の配偶者及び同居者
- ③妊婦の配偶者及び同居者

上記に当てはまる人のうち、 風しんの抗体を持たない人

※風しん第5期予防接種の対象者(昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性)を除く。

<実施方法>

取扱医療機関において無料で抗体検査を実施し、抗体価が低い人を対象に予防接種を実施します。 予防接種の自己負担額は、麻しん風しん混合(MR)ワクチンの場合は3,000円、風しんワクチン の場合は1,000円で、生活保護受給者・市民税非課税世帯・中国残留邦人等支援給付者については 免除します。助成は抗体検査、予防接種それぞれ1回限りです。

(2) 新型コロナワクチン定期予防接種

新型コロナワクチン接種については、全額公費による特例臨時接種が令和5年度末で終了し、令和6年度からは予防接種法上の定期接種として実施することとなりました。

これを受け、本市においても個人の重症化予防を目的に、定期接種として実施するものです。

<対象者>

- ・65歳以上の人
- ・60~64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害があり、身体障害者内部障害1級又は同程度以上の障害であると医師が認めた人

<実施方法>

年に1回、取扱医療機関で接種。自己負担額は3,000円で、生活保護受給者・市民税非課税世帯・中国残留邦人等支援給付者については免除します。

3. 実施時期等

風しん対策費用助成事業の拡充	新型コロナワクチン定期予防接種
令和6年8月より拡充分の受付を開始	令和6年10月から令和7年1月末まで
※令和6年4月1日以降、事業開始日までに実施し	
た検査・予防接種については遡及適用します。	

<周知方法>

広報、市ホームページ、SNSで発信するとともに、取扱医療機関にポスターを掲示します。

4. 総合計画等における根拠・位置付け(記入例)

総合計画 基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標7 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち



5. 関係法令・条例等

予防接種法

6. 事業費・財源及びコスト

風しん対策費用助成	文事業	新型コロナワクチン定期予防接種	
《事業費》12,369千円(令和6 ※他市の実績を踏まえ現計予算の範囲 んでいるため補正予算の計上は予定して 支出内訳 抗体検査委託料・補助金 予防接種委託料・補助金	で対応可能であると見込	《事業費》 770,327千円 支出内訳 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費のう ち一部 (令和6年度当初予算) 予防接種業務委託にかかる委託料 37,772千円 [事務処理センター及びコールセンターに係る包括的委 託、健康管理システム改修委託等]	
《財源》 国支出金(抗体検査1/2) 府支出金(予防接種1/2) 一般財源	3,056千円 3,127千円 6,186千円	武、健康管理システム改修委託等」 通信運搬費等 予防接種実施経費(令和6年6月補正予 予防接種委託料・補助金	3,572千円 今算) 728,983千円
		《財源》 ワクチン生産体制等緊急整備助成金 一般財源	452, 209千円 318, 118千円